Information_10

猫風邪のおはなし

猫風邪は猫が感染する、最も一般的な感染症の一つです。
症状は人間の風邪と似ていて、鼻水やくしゃみ、発熱、咳などですが
免疫力の弱い若齢の仔猫や老齢の猫では、命に関わる場合もあります。

猫風邪って？

「猫風邪」と言われていますが、正確には「上部気道感染症」
（上部気道＝鼻から喉の辺りまで）といいます。
おもな原因として、以下のウイルスや細菌が影響しています。

ネコヘルペスウイルス	鼻水、くしゃみ、咳、発熱、食欲低下、角膜炎、結膜炎
ネコカリシウイルス	鼻水、くしゃみ、発熱、食欲不振、口内炎、舌潰瘍、肺炎、関節炎
ネコクラミジア	結膜炎、くしゃみ、咳、鼻水

感染経路

感染猫のくしゃみや咳、鼻水、よだれに接触することで感染します。また、感染後に症状が回復した猫でも体内にウイルスを持っている場合があり（＝キャリア状態）、感染源となり得ます。

ヘルペスウイルスに感染した猫

外に出て他の猫と接触する機会のある仔は、感染のリスクが大きいといえます。

治療

◎抗生剤◎
細菌の二次感染を防ぐために、抗生剤を使用します
症状が回復しても止めずに飲み切ってください

◎インターフェロン◎
ウイルスに対して、体の免疫力を高める薬です
注射や点眼・点鼻薬として用います

◎点滴◎
体力の消耗や、食欲不振、脱水などに対して皮下点滴や
重度の場合は入院して静脈内点滴を行います

猫は鼻詰まりなどで嗅覚が落ちると、食欲も落ちます。食事は匂いの強いものにする、温めて香りをたたせるなど工夫してあげましょう

予防

猫風邪の主な原因となる病原体にはワクチンがあります。感染を100%防げるものではありませんが、感染しても軽症で済ませられます。
室内飼育で不特定多数の猫と接触をさせないことも予防につながります。

スタッフより

猫風邪の症状は一旦回復しても、大きなストレスを受けた時や何らかの原因で免疫力が落ちた時に再発することがあります。幼齢・高齢猫や、猫エイズ、猫白血病に感染している仔は特に気をつけましょう。
ヘルペスウイルスの増殖を阻害する成分が入ったサプリメントもあります。